

# 『奏アカデミー』子ども大学ひらつか

平成23年10月16日、23日、30日の3日間、東海大学湘南キャンパスにおいて、『奏アカデミー』子ども大学ひらつかを開催しました。『奏アカデミー』とは、小学生の子どもたちが「なぜだろう」「どうしてだろう」と思う内容について、大学のキャンパスで、大学の先生が楽しく授業を行う、子ども大学ひらつかのことで、今回が初めての開催でしたが、定員60名に対し150名を超える応募があるなど、関心の高さが窺えました。



算数マジック教室



不思議おもしろ実験

授業では、ペットボトルなどの身近な材料から噴水を作ったり、浮沈子(ぶちんし)の浮き沈みから自然現象のしくみを勉強したり、金属を落とした音で演奏するバンジー

チャイムを使って大演奏会をしたりと盛り沢山の内容でした。子どもたちは、不思議な実験の数々に目を丸くしてとても楽しそうに取り組んでいました。普段とは違う大学の教室、他の小学校の友達、不思議がいっぱいの授業を体験できて、アンケートではまた参加したいとの声が数多く寄せられました。



やってみよう科学実験

平塚市教育委員会社会教育課では、東海大学や神奈川大学との連携により市民・大学交流事業を開催しています。来年度も『奏アカデミー』子ども大学ひらつかなどの事業を楽しみにしていきましょう。

【問い合わせ先】平塚市教育委員会社会教育課  
社会教育担当 (0463-35-8123)

## 平塚に伝わる伝統芸能 — 前鳥座 —

皆さんは、平塚市に人形浄瑠璃を伝承する団体が二つあることを御存知でしょうか？

一つは湘南座。一体の人形を一人で操る、「一人遣い」という操法を伝承している団体です。そしてもう一つは前鳥座。一体の人形を三人で操る、「三人遣い」という操法を伝承している団体です。



第34回ひらつか民俗芸能まつりより「生写朝顔話」

このように、異なる操法を伝承する団体が同じ市に存在していることは、全国的に見ても極めて珍しく、平塚市にとって貴重な財産と言えるでしょう。今回は、前鳥座について紹介したいと思います。



第35回ひらつか民俗芸能まつりより「御所桜堀川夜討」

前鳥座は、江戸時代の中頃から四之宮地区にある前鳥神社の奉納行事として始まったと言われています。太平洋戦争前後に活動の中断

がありましたが、昭和27年に再興、昭和57年には県の無形民俗文化財に指定されました。首と右手を操る主遣いを中心に、左手や小道具を扱う左遣い、足を操る足遣いの三人による「三人遣い」という操法を伝承しています。遣い手の技術はもちろん、三人の呼吸がしっかりと合わなければ人形に命を吹き込むことはできません。人形の動作一つ一つに、遣い手の努力と信頼関係が詰まっているのです。

前鳥座は、毎年ひらつか民俗芸能まつりや大磯高等学校の未来の夢講座などで活動しています。また相模人形芝居連合会として、今年2月12日に平塚市で、3月11日には相模原市で公演を行います。興味のある方は、一度御覧になってはいかがでしょうか？古くから伝わる伝統芸能が、皆さんを素敵な時間へと誘ってくれることでしょう。



第35回ひらつか民俗芸能まつりより「御所桜堀川夜討」

【問い合わせ先】平塚市教育委員会社会教育課  
文化財保護担当 (0463-35-8124)

## 平塚市文化振興基金にご協力を!!

平塚市文化振興基金は、市民文化の振興を図るために活かされます。基金に御寄付くださる方は、平塚市文化・交流課まで御一報ください。御支援をよろしくおねがいいたします。【☎0463-32-2235】

平塚市文化振興基金にご寄附をいただいた方

H23.10月から12月まで (敬称略)

■竹遊会 (23.12.15)

■平塚市ビルメンテナンス業協同組合 (23.12.21)